

## 高等教育進学者における 学習経験の同質性と多様性

—関西と北陸の文科系学生を対象とする調査結果から—

大前 敦巳

上越教育大学

本報告は、初等教育から高等教育・成人教育までをトータルにとらえる生涯学習体系への移行という観点から、学校教育の可能性と問題点を探るために、次の2つの関連するテーマを設定した。

1つは、「開かれた学校」の知的拠点となる「開かれた教育学」と題して、a) 臨時教育審議会以降の「個性重視の原則」に立った教育改革の動向、b) 脱工業化・グローバル化社会における知識集約的な学習社会への対応、c) 進学率の上昇と高等教育のユニバーサル化に伴う初等・中等教育のあり方の変容を問題に取り上げた。

もう1つは、筆者が2002年に関西と北陸の7大学・短大の文科系学生を対象に実施した、「現代大学・短大生の学習経歴と学生生活に関する調査」の結果に基づき、高等教育進学者における初等・中等教育時代の学習経験の同質性と多様性の特質を分析した。当日配布したレジュメによる報告内容の要約は、以下のとおりである。

### 1. 「開かれた学校」の知的拠点となる「開かれた教育学」

- a) 臨時教育審議会(1984～1987)・生涯学習振興法(1990)以後の「失われていない10年」
- 少子化、教育問題、学力低下など困難山積の状況で、貴重な明るい教育のシナリオ。
  - 学校教育／社会教育の二項対立を超えた教育行政の見直しと再編成。
  - ボランティア・サークル・NPOなど市民活動の活性化。その社会的重要性の認識。
- 阪神淡路大震災(1995)、日本海重油流出事故(1997)、特定非営利活動促進法(1998)
- 学校教育への市民参加。
  - 学校週5日制(1992, 1995, 2002)、学校評議員制(2000)、新学習指導要領(2002～)
- b) 知識集約的な学習社会に向けた新しい時代への対応
- 脱工業社会におけるサービス・通信・情報・保健・教育などの産業分野の拡大。  
(ダニエル・ベル)
  - グローバル化による「シンボリック・アナリスト」「創造的労働者」の台頭。  
(ロバート・B・ライシュ)
  - 「知識(集約)社会」および「教育社会」(近藤博之・矢野真和)の到来。

→「学習社会」の進展。生涯学習による生きがいの追求と社会への還元。  
「新しい時代における教養教育」(2002), 教育基本法「改正」への動き

c) 高等教育・成人教育に開かれた初等・中等教育

- 進学率の上昇と高等教育のユニバーサル化
- 万人型の教育機会(ユニバーサル・アクセス)の達成と課題。
- 長期キャリア形成を前提にした初等・中等教育における「基礎・基本」の育成。
- 大学等の地域・学校貢献による進学インセンティブの向上。
- 多角的な専門領域の視座から教育にアプローチする必要性

## 2. 高等教育進学者における初等・中等教育時代の学習経験

a) 「現代大学・短大生の学習経歴と学生生活に関する調査」の結果から(大前, 2003)

- 初等・中等教育時代の学習経験(予備調査のフランスとの比較:大前, 2002)
- 北陸の大学生に見られる非通塾者(地元出身が多く成績が良い)
- 地域教育とボランティア活動の経験者(私立大生の「生きる力」)
- 最も競争的な大学に見られる階層差(国公立と私立とで異なる様相)

b) 学習経験の同質性と多様性

- 小学生時に習いごとに通い, 中学生時に塾通いをする「同質的な多数派」の存在
- 学校設置者, 地域, 入学難易度による違いはほとんど見られない。
- 相対的に家庭教育の比重が小さい。

- 個別大学・短大によって異なる特徴がみられる「周辺的な多様性」
- 社会的軌道およびハビトゥスの違いとして理解できる多様な学習経験。  
ハビトゥス: 慣習化された行動を通じて身体化され持続する文化的性向
- 高等教育進学者をめぐる文化的な対立図式。  
本報告では扱えないが, 非進学者の問題も考慮に入れる必要がある。

- 教育改革によってもたらされるものは多様性の促進か? 切り捨てか?
- 教育機会, 教育環境, 学校経営, 学習過程等の支援のあり方が問われる。

[参考文献]

- 新井郁男編『現代のエスプリ No.146:ラーニング・ソサエティ』至文堂, 1979年。  
アレゼール日本編『大学界改造要綱』藤原書店, 2003年。  
ダニエル・ベル/山崎正和訳『知識社会の衝撃』TBSブリタニカ, 1995年。

- 近藤博之編『日本の階層システム3：戦後日本の教育社会』東京大学出版会，2000年．
- 大前敦巳「上越教育大学生の学習経験と学生生活－日仏比較に向けた質問紙調査の問題点と課題－」『上越教育大学研究紀要』第22巻第1号，2002年，pp.201-215．
- 大前敦巳「高等教育進学者における学習経験の同質性と多様性－関西と北陸の文科系学生を対象とする調査結果の探索的分析－」『上越教育大学研究紀要』第23巻第1号，2003年，61-74頁．
- ロバート・B・ライシュ／中谷巖訳『ザ・ワーク・オブ・ネーションズ：21世紀資本主義のイメージ』ダイヤモンド社，1991年．
- ロバート・B・ライシュ／清家篤訳『勝者の代償：ニューエコノミーの深淵と未来』東洋経済新報社，2002年．
- 白石克己・佐藤晴雄・田中雅文編『生涯学習の新しいステージを拓く2 学校と地域でつくる学びの未来』ぎょうせい，2001年．
- マーチン・トロウ／喜多村和之訳『高度情報社会の大学』玉川大学出版部，2000年．
- 矢野真和『教育社会の設計』東京大学出版会，2001年．